

## 学校教育相談Ⅰ（教育実践研究C－Ⅰ）（4単位）

専門＞教育学部（全入学年度対象）＞課程共通科目

2年、3年、4年 通年(前→後)

[ふくい地域創生士認定科目] 週間授業

廣澤 愛子 (aiko-h@g.u-fukui.ac.jp)

大西 将史 (mohnishi@u-fukui.ac.jp)

織田 安沙美

河村 佳保里

笹原 未来 (sasahara@u-fukui.ac.jp、0776-27-9934(2550)、連  
合教職開発本部2階、火曜4限)

鈴木 静香

### ■授業概要

学校支援ボランティアに係わる理論の取得と実践を通して、教育相談・生徒指導・進路指導及びキャリア教育を学ぶ

### ■到達目標

実際に学校現場で実習を行い、かつ大学で理論を学ぶことを通して、教育相談、生徒指導、進路指導及びキャリア教育の概略について理解する。

### ■授業内容

授業計画

第1回：オリエンテーションⅠ（教育相談の意義、心理学の基礎知識、活動場所の希望調査、教員の自己紹介）

第2回：ガイダンスとしての進路指導・キャリア教育（グループ編成・チャレンジ教室からの説明も含む）

第3回：講義 実践記録のつけ方・保管の仕方（教育相談の具体的な進め方、連携の在り方も含む）

第4回：講義 ライフパートナーの実践（児童生徒のアセスメントとカウンセリングの基礎的事項）

第5回：講義 教育相談の実践（いじめ・不登校など学校現場の課題、支援計画と校内支援体制）

第6回：講義 適応指導教室からの報告（地域連携の実践、キャリア・カウンセリングの実践と課題）

第7回：講義 進路指導・キャリア教育の意義と原理（学校教育におけるキャリア教育の位置づけと意義）

第8回：経験者実践発表（キャリア教育上の課題と、それへの指導の在り方）

第9回：講義 発達と支援（発達課題に応じた支援、個別の進路指導）

第10回：学校支援ボランティア活動①（ガイダンス機能を生かした進路指導・キャリア教育）

第11回：学校支援ボランティア活動②（教育相談におけるカウンセリングマインド、生徒指導との違い）

第12回：実践報告会①（幼児・児童の発達に見合った支援計画、校内連携、心理学的知識の活かし方）

第13回：学校支援ボランティア活動③（キャリア教育の視点をもったカリキュラムマネジメントを知る）

第14回：学校支援ボランティア活動④（いじめや不登校・不登園の実践、医療・福祉・心理との連携の実践）

第15回：学校支援ボランティア活動⑤（キャリア教育における組織的な指導体制、家庭との連携について学ぶ）

第16回：オリエンテーションⅡ（教育課程における生徒指導の位置づけとその進め方、活動状況アンケートの実施）

第17回：講義 生徒指導の意義と原理（生徒指導の重要性、生徒指導の法令、個別指導と集団指導、教育相談との違い）

第18回：実践報告会②（インターネットの使用やいじめの問題など、生徒指導に係わる課題への対応）

第19回：学校支援ボランティア活動⑥（基礎的な生活習慣の確立

や規範意識の醸成、生徒指導の場の設定方法など）

第20回：講義 学校現場で対応困難な子どもへの係わり方①（組織的取り組み）

第21回：講義 学校現場で対応困難な子どもへの係わり方②（個々の生徒への生徒指導の実践）

第22回：実践報告会③（教育相談と生徒指導の異同について）

第23回：学校支援ボランティア活動⑦（いじめ・不登校に対する生徒指導的対応と教育相談的対応）

第24回：実践報告会④（教室における支援の実践—進路指導・教育相談・生徒指導の接点—）

第25回：学校支援ボランティア活動⑧（カウンセリングマインド、教師との連携、保護者への支援）

第26回：学校支援ボランティア活動⑨（発達の側面のアセスメント、医療・教育間での連携）

第27回：学校支援ボランティア活動⑩（生徒指導上の問題への取り組みの実践）

第28回：実践報告会⑤（相談室で行う支援の実践、教師との連携）

第29回：最終報告会Ⅰ（教育相談事例及び、生徒指導事例の報告）

第30回：最終報告会Ⅱ（教育相談事例及び、進路指導事例の報告）

### ■準備学習（予習・復習）等

学校支援ボランティア活動の後に、実践記録をつけて、次の活動に生かす。

### ■授業形式

①ケースカンファレンス、②講義を聴く、③講義を聴いてディスカッションし、それらを発表する、の3点が柱となっている。

### ■成績評価の方法

学校支援ボランティア活動（40%）＋実践記録の提出（30%）＋報告会などでの発表（30%）

### ■教科書・参考書等

参考書・参考資料等

大学と地域の連携による不登校児・発達障害児への支援（創文堂、2015）

心とふれあう教育相談（北樹出版、2015）

生徒指導（学事出版、2017）

新時代のキャリア教育（東京書籍、2017）

### ■その他注意事項等

この授業は、ライフパートナー活動（学校や適応指導教室、家庭などに出向き、子どもと週1回2時間程度活動を行うというもの）を12回行うことが原則的に義務付けられている。また、後期の学校教育相談研究Ⅱと連動しており、学校教育相談研究Ⅰ・Ⅱの双方を受講しなければならない。

### ■キーワード

教育相談 生徒指導 進路指導 学校支援ボランティア 特別支援教育 臨床心理学 発達心理学

### ■アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニングを一部導入した科目

学校現場に出向いて、特別支援を要する児童生徒や、特別支援を要する児童生徒が在籍する教室や保健室などで、支援を行う

### ■授業形態

対面授業

適宜、オンデマンド型授業を実施することがあります。

また、授業資料などは、グーグルクラスルームにアップします。基本的に、紙媒体での配布はいたしません。